

■■化学療法投与計画書《SOX+BV療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp) ベバシズマブ(アバステン) 7.5mg/kg 点滴静注 Day1  
 オキサリプラチン 130mg/m<sup>2</sup> 点滴静注 Day1 3週毎  
 TS-1 ※用量は下記参照 内服(1日2回) Day1(夕)~15

※TS-1用量:体表面積に応じて調整  
 <1.25m<sup>2</sup> 80mg/body /日(20mg 4C 2×)  
 1.25~1.5m<sup>2</sup> 100mg/body /日(25mg 4C 2×)  
 1.5m<sup>2</sup>< 120mg/body /日(20mg 6C 2×)

レジメンコメント1
レジメンコメント2

Day2~4  
 デカドロン錠4mg 2錠(8mg) 2× 3日間内服

本管①
生理食塩液 100mL 1 瓶

<注意すべき副作用>  
 ●過敏症 ●食欲不振、吐き気  
 ●手足のしびれ ●口内炎 ●下痢  
 ●色素沈着 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)  
 ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血)  
 ●血小板減少 ●肝機能低下

側管①	全量100mLに調製
	【mL】生理食塩液 100mL mL
	ベバシズマブ mg
※	<腫>ベバシズマブBS点滴静注400mg「第一三共」:
	<腫>ベバシズマブBS点滴静注100mg「第一三共」:

※初回90分 忍容性良好時2回目60分 以降30分で投与可

側管②	
15分	パロノセトロン点滴バッグ 1 袋
	0.75mg50mL
	デカドロン注射液1.65m 6 管

★ベバシズマブ投与期間中、以下の初期症状に注意すること  
 (※緊急対応を要する副作用の可能性)  
 ・突然起こる強い腹痛  
 ・下血・喀血・突発性意識障害  
 ・神経症状・頭痛・嘔気嘔吐  
 ・めまい・胸痛(胸部圧迫感)  
 ・呼吸困難・咳嗽・下肢の腫脹、疼痛、色調変化  
 ・急激又は著しい血圧上昇

側管③	
120分	大塚糖液5% 250mL(5%TZ) 1 袋
	オキサリプラチン mg
	<腫>オキサリプラチン点滴静注液100mg
	<腫>オキサリプラチン点滴静注液50mg

生理食塩液でルート確保し終了時50mL程度フラッシュ

<実施時の注意点>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。

●オキサリプラチン

アルミニウムとの接触により分解するため、アルミニウムが用いられている機器は使用しないこと。

本剤投与後数分以内の過敏症状(気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下等)が認められた場合には、直ちに投与を中止し適切な処置を行うこと。また回復後は本剤を再投与しないこと。

●ベバシズマブ

高血圧があらわれることがあるので、投与期間中は血圧を定期的に測定し、適切な処置を行うこと。

蛋白尿があらわれることがあるので、投与期間中は尿蛋白を定期的に検査することが望ましい。

ブドウ糖溶液と混合した場合ベバシズマブの力価の減弱を生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。